

シナリオプランニング「ソーシャル」セッション 「2025年の超ICT社会における安心できる暮らしとは？」 第1回セッション開催報告

2014年10月29日、
シナリオプランニング「ソーシャル」セッションの第1回を開催いたしました。
今回のセッションでは、社会全体というマクロな視点から、
4つの未来シナリオについて想像を膨らませ、共有を行いました。

<プログラムの内容>

シェア・セッション

今日何を考えていくのかを参加メンバー全員で共有

Session1 「シナリオに出会う」

- 1-1.セッションのゴール・進め方
- 1-2.参加メンバーから一言
- 1-3.未来シナリオのアウトライン

クリエイティブ・セッション

グループワークを中心にアイデアを広げて、深める

Session2 「アイデアを膨らませる」

- 2-1.ペアトーク
- 2-2.ブレインストーミング

Session3 「アイデアを深める」

- 3-1.シナリオの特徴を発見する(投票)
- 3-2.シナリオの特徴を発見する(分類)
- 3-3.マクロな姿を描く・全体共有



Session 1-1 セッションのゴール・進め方

未来は”不確実”なものという前提に立ち、創造的な対話から未来を考え、“不確実だが起こりうる可能性のある未来”を複数描きその社会の課題・ニーズを発見します

2025年の超ICT社会における安心できる暮らしはどうなっているのか、セッションに集まったみなさんと考えていく全3回のセッションの1回目です。

第1回：社会全体というマクロな視点から、各未来シナリオを描きます。

第2回：その社会に生きる個人というミクロな視点から、各未来シナリオを掘り下げます。

第3回：描いてきたシナリオを背景に、その社会における課題・ニーズを発見、サービスコンセプトづくりにまで発展させます。

背景狙い

ICTの浸透に伴い、新たな社会生活上のリスクや不安の増加が見込まれます。このような社会環境において、人々の安心は、どのような価値観に基づき、いかに担保されるのか？ 新たな社会課題を抽出するための認識を共有します。

問い

2025年の超ICT社会における安心できる暮らしとは？

ゴール

未来シナリオをつくり、その社会の課題・ニーズを発見します



【第1回セッション】

10/29(水)18～21時
“マクロな未来社会の描写”

【第2回セッション】

11/13(木)18～21時
“人物像、生活ストーリーの描写”

【第3回セッション】

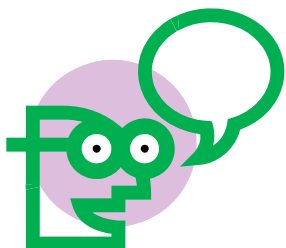
11/20(木)18～21時
“課題・ニーズの抽出、サービスコンセプトづくり”



Session1-2 参加メンバーからひと言

参加メンバー全員の自己紹介を行いました。

ニックネームと10年後までに自分や社会に関して変えたいことについてひと言ずつ発表しました。



Session 1-3 未来シナリオのアウトライン

いま起きている変化の兆しから導き出した未来社会の分岐軸と、そこから生まれる4つのシナリオの世界観を説明しました。また、各シナリオの社会像がイメージできるよう、参考事例を紹介しました。

<未来社会の分岐軸>

【軸1】経済のあり方

定常型経済 (質の充実優先)

生産と消費をバランスさせながら、活発な経済活動が行われる。経済性や効率性だけでは評価できないものに価値を見出していく。

成長型経済 (規模の拡大優先)

生産と消費の規模の拡大、成長スピードの向上を目指して活発な経済活動が行われる。経済性や効率性を至上価値とする。

【軸2】行動の志向性

リスクを恐れない

リスクを恐れず積極的にチャレンジする、大胆な思考・行動様式をとる人が多数派となる。

リスクを排除する

できるだけリスクを回避できるよう予防や事前対策に重きをおく、慎重な思考・行動様式をとる人が多数派となる。

<4つのシナリオの世界観>





Session2-1 ペアトーク

どのシナリオのどんなところが良かったか、
どんなところが気になったかをペアで話すことで、
シナリオのイメージをさらに膨らませました。



Session2-2 ブレーンストーミング

3～4名のチームで、シナリオごとにアイデアを書き出しました。
「10年後、こんな事が起きているのではないだろうか？」
「10年後、こんな事が気になっているのではないだろうか？」



Session3
「アイデアを深める」

Session3-1 シナリオの特徴を発見する(投票)

出揃ったアイデアを吟味し、重要だと思うものに各自投票しました。

投票の観点は、

- ①.起きてほしい変化や現象
- ②.起きてしまいそうな変化や現象
- ③.注目したい、気になる変化や現象



Session3-2 シナリオの特徴を発見する(分類)

4つのシナリオのうち、深めたいシナリオを各自1つ選びました。

同じシナリオを選んだメンバーでチームとなり、得票の多いアイデアを中心に、そのシナリオらしい特徴を発見しました。

- ＜手順＞
- a.類似点や共通点のありそうなものをまとめる
 - b.まとまったグループにキーワードをつける
 - c.キーワードを参考に、シナリオの特徴を表すフレーズをつくる



Session3-3 マクロな姿を描く・全体共有

チームで話し合い、シナリオの社会像を整理し、ボードへまとめました。
整理の観点は、

- ①.良いところ
- ②.困ったところ
- ③.新たに出現しているモノ・サービス・ひと、そのイメージ

<ボードへのまとめ例>

<シナリオ□ ライフ>

【社会の特徴】

①良いところ

②困ったところ

③新たに出現しているモノ・サービス・ひと

イメージ

【社会の特徴】
特徴を表すフレーズ

【良いところ】
その社会の
良い要素についてのアイデア

【困ったところ】
その社会の
困る要素についてのアイデア

【イメージ】
新たに出現しているモノ・
サービス・ひとの
アイデア出しと
そのイメージ図を作成

シナリオ1 悠々安穩ライフ

(定常型経済×リスクを排除する)

<マクロイメージ>

日ごろから備える行動が、
安心感とともに活力創造も促す



描出された社会の特徴

概要

地域完結

気の合う仲間であまり、さらに連携しあう

“古き良き”を大切に

最新技術の利用だけでなく、アナログ要素も尊重する

3Kの自動化

危険な仕事は全て自動化され、人の安心を確保する

物理的移動の省略

移動に伴うリスク(事故等)を排除し、安心を確保する

食などの安心担保

生活習慣病になりにくい暮らしを営める

シナリオ2 信念追求ライフ

(定常型経済×リスクを恐れない)

＜マクロイメージ＞
信念を大切にした行動を通じて、
新たな安心を作り出す



描出された社会の特徴	概要
自分の意向を貫ける	趣味を追求し、それが達成できて、なお周りからその達成を認められる 自分のやりたいこと、質の追求に走り、その実現のためのリスクは恐れない
趣味を追求できる	
好きな事をしていても認められる	
幸福であれば死を厭わない	生まれてから死ぬまでを自己流に表現できる
1人～少数で生きる	個人主義が受け入れられる

シナリオ3 High Risk High Return ライフ

(成長型経済×リスクを恐れない)

<マクロイメージ>

束縛されず大胆に行動し、
成果次第で報酬や名声を得られることに安心を感じる



描出された社会の特徴	概要
自分好みにデザインする	自分と自分の周りを好きなようにデザインできる
健康を失っても生き返れる	ケアサービスが充実し、失敗しても死ぬことは無い
チャレンジ精神保有者の増加	「チャレンジするのが当然」という社会風潮、仕組みがある
時間の価値が高くなる	やりたい事が増え、時間が足りなくなる

シナリオ4 Care & Gain ライフ

(成長型経済×リスクを排除する)

<マクロイメージ>
リスクマネジメント行動を徹底し、
安心して活発な活動を行う



描出された社会の特徴	概要
自分の価値を高める	日常不安が無い、ため、長期スパンで自分を高められる
完璧なセキュリティ	安心を求めて時間やお金を最大限に投入
経済的安定の保障	収入安定や無駄遣い防止につながる仕組みが充実
無駄の最小化	確実なことを確実にやる結果、合理化・効率化が進む